

司書に関する科目履修要項

〔2012年度以降に入学した学生に適用〕

図書館は、古来、情報を収集・整理・保存し、広く一般の利用の便を図る役割を担ってきた。今後、情報社会の進展に伴って、その役割が増大することがあっても、減少することはない。司書とは、情報の収集・整理・保存、利用等に関わる専門的職員のことである。

本学で開講される司書に関する科目は、司書資格を取得するためのものであり、所定の単位を修得した者に対して、本学の「司書講習修了証明書」を授与する。

1 資格取得のための要件

- 1) 卒業に必要な単位を修得すること。
- 2) 司書に関する科目について、必修科目を13科目22単位、および選択科目を2科目以上（2単位以上）、合計24単位以上を修得すること。
- 3) 司書資格について本学で開講される科目は以下のとおりである。

	新法令上の科目名称（単位数）	本学開講科目（単位数）	受講年次
必修	図書館概論（2）	図書館情報学概論（2）	1～4
	図書館制度・経営論（2）	図書館制度・経営論（2）	1～4
	図書館情報技術論（2）	図書館情報技術論（2）	1～4
	図書館サービス概論（2）	図書館サービス論（2）	1～4
	児童サービス論（2）	児童サービス論（2）	1～4
	情報サービス論（2）	情報サービス論（2）	1～4
	情報サービス演習（2）	情報サービス演習Ⅰ（1） 情報サービス演習Ⅱ（1）	1～4
	図書館情報資源概論（2）	図書館情報資源概論（2）	1～4
	生涯学習概論（2）	生涯学習論（2）	1～4
	情報資源組織論（2）	情報組織化論（2）	1～4
	情報資源組織演習（2）	情報資源組織演習Ⅰ（1） 情報資源組織演習Ⅱ（1）	1～4
	計	22	22
選択	図書館基礎特論（1）	図書館基礎特論（1）	1～4
	図書館サービス特論（1）	図書館サービス特論（1）	1～4
	図書館情報資源特論（1）	図書館情報資源特論（2）	1～4
	図書・図書館史（1）	情報・メディア史（1）	1～4
	図書館施設論（1）	図書館施設論（1）	1～4
	図書館総合演習（1）		
	図書館実習（1）		
	資格取得のための総単位数（24）	本学資格取得のための総単位数（24）	

- ①必要な科目を2年以上にわたって履修しなければならない。
- ②講義科目とその演習科目といったように、科目間に強い依存関係が存在するものもある。その関係にそって履修してもらうために、次の科目の登録には制約を設定した。

「情報組織化論」→「情報資源組織演習Ⅱ」

「情報サービス論」→「情報サービス演習Ⅰ」

「情報資源組織演習Ⅰ」→「情報サービス演習Ⅱ」

例えば、「情報組織化論」を事前に履修していなければ「情報資源組織演習Ⅱ」を登録・履修することはできない。

司書（両キャンパス共通 2012生以降）

- *「情報組織化論」の授業コードは15841-002と20076-001の2つである。20076-001は人文学部共通科目のコードである。人文学部の学生で、この科目を卒業単位に加えたい学生は、このコードで登録すること。
- *「生涯学習論」の授業コードは15921-001と20086-002の2つである。20086-002は人文学部共通科目のコードである。人文学部の学生でこの科目を卒業単位に加えたい学生は、20086-002で登録すること。なお、博物館学芸員養成課程における「生涯学習論」でこれにかえることができる。
- *「情報資源組織演習Ⅰ」、「情報資源組織演習Ⅱ」、「情報サービス演習Ⅰ」、「情報サービス演習Ⅱ」は定員が設けられているため、初回登録時に4年次生を筆頭に、3年次生、2年次生の順番で優先的に履修を認める。ただし、4年次生の人数が定員に満たない場合には、3年次生、2年次生の順番で履修を認める。その場合3年次生以下は抽選とする。
- *「図書館情報資源特論」の授業コードは15865-001～003である。ただし、授業コード12327-005～007のテーマ科目「知識・言語と情報社会（文化と情報）5」と乗り入れて開講しているため、卒業単位に加えたい学生は、12327-005～007で登録すること。
- *特論とは、基礎となる科目を理解したのちに、さらに詳しく論ずると位置づけられている科目群である。

2 受講手続き

- 1) はじめて受講する学生はガイダンスを必ず受けること。
 - 2) 教務課資格担当（瀬戸キャンパスは第2課教務係）の窓口で、司書課程受講申請をすること。
 - 3) 司書課程費を納めること。金額は別に定める。
- * 司書課程に関する事項は全てWebページによって知らせるので、常時名古屋キャンパス「教務課Webページ」、瀬戸キャンパス「学生情報Webページ」に注意すること。